居酒屋 /A 型ブラックボード

〈用意する物〉

- ●蛍光ボードマーカー極太（ホワイト）/LBM482W
- ●蛍光ボードマーカー太字（レッド）/LBM281R
- ●蛍光ボードマーカー太字（イエロー）/LBM281Y
- ●蛍光ボードマーカー中字（ホワイト）/LBM252W
- ●蛍光ボードマーカー細字（ホワイト）/LBM202W
- ●ブラックボード専用イレーザー /LBE610
  ※ブラックボード専用イレーザーがない場合は、柔らかい布やティッシュでも構いません。
- ●A 型ブラックボード /LNB110
- ○ボールペン
- ○食べ物写真 4 枚（貼りたいサイズや形に切り抜いておく）
- ○イラスト印刷紙（PDF 書類ダウンロードを拡大プリントしたもの）

〈書き始める前にすること〉

（1）書き始める前に、書く内容と、だいたいの配置を決めておきます。（決めた内容を紙に下書きしておくと、確認しながらできて、よりスムーズです。）
（2）用意する物を全て用意し、ボードマーカーは表記にそって色インク出しをして使用できるようにしておきましょう。
　　また、ブラックボード専用イレーザーは、水に濡らして、こちらも使用できるようにしておきましょう。

① 極太マーカー（ホワイト）のペン先正面側で、上下に太い線を引き、その間に、「本日のオススメ」文言を書きます。

② 極太マーカー（ホワイト）のペン先側面側で、上下の太い線の更に上下に、細い線を引いていきます。写真の配置を決め、マグネットで固定します。

③ 中字マーカー（ホワイト）で、HP 素材からフレームを描き、中に「今が旬」の文字を書き、その下に料理名を書きます。価格は、中字マーカー（レッド）で書き、最後に中字マーカー（ホワイト）で横線を引いていきます。

※イラスト印刷紙を使ったイラストの書き方は、「お弁当 (TAKE OUT)/A3」の②～④を参考に。

④ イラスト印刷紙のビールジョッキイラスト（持ち手なし）をボード面にうつした後、ビールの液体部分の縁を中字マーカー（クリーム）の正面側でなぞっていきます。

⑤ ビールの液体部分を、中字マーカー（クリーム）の正面側で上から下に縦一方向に塗ります。中字マーカー（ホワイト）で泡部分の縁を書いていきます。

⑥ 極太マーカー（ホワイト）の側面側で泡部分の中を塗りつぶした後、中字マーカー（ホワイト）でビールのグラス縁を書きます。中字マーカー（オレンジ）でビールの液体内に、炭酸の泡を書き込んでいきます。

⑦ 中字マーカー（ホワイト）でフラッグの線を書き、中に、太字マーカー（レッド）で「平日限定」と書きます。「HAPPYHOUR」を書くために基準点を打っておきます。

⑧ 「HAPPYHOUR」をシャドウ文字で書いていきます。太字マーカー（ホワイト）正面側で書き、中字マーカー（ホワイト）で影の線をつけていきます。

⑨ 極太マーカー（ホワイト）で「18 時まで」を書き、その下に、太字マーカー（レッド）で「1 杯 200 円」を書いていきます。中字マーカー（ホワイト）で、「1 杯 200 円」の上下と、横に線を引いていきます。

⑩ ビールグラスのイラストの周りを、中字マーカー（ホワイト）と細字マーカー（ホワイト）で、交互に斜線と点を入れていきます。

⑪ 中字マーカー（ホワイト）で「Desserts」とその下に線を書いていきます。デザートの写真をマグネットでとめておきます。

⑫ 細字マーカー（ホワイト）で、デザート名と価格を書き、最後にキラキラマークを書けば完成となります。

POINT

ひとめで（アイキャッチとして）伝わることが大切なので、一番おすすめしたいもの（人気商品など）は、一番大きい写真を用意しましょう。料理名の色と価格の色（今回は赤）を変えて書くことで、読む人が目で追いやすくなります。また、ボード内の価格の色を全て共通にすることで、縦長のボードでも下部まで目線を誘導することができます。